

化学職って??

福岡県職員 化学職志望者向け
パンフレット



福岡県環境保全技術者の会



ごあいさつ

福岡県化学職の仕事を紹介するパンフレットを手にとっていただきありがとうございます。

化学職は、白衣を着て分析、研究をしているイメージをお持ちの方も多いと思います。実際には、法律に基づく事業者への立入・指導や許認可業務を行ったり、産学官民協同事業など様々な業務に従事しています。

そこで、福岡県の化学職に興味を持たれた皆さんに、入庁前に具体的な仕事のイメージを持っていただけるよう、パンフレットを作成しました。

是非、ページをめくり、内容をご覧ください。

福岡県では、大気汚染や水質汚濁などの公害問題が深刻化した1960年代頃から、公害対策に従事する職員として化学職が採用され始めました。

その後も、廃棄物の不適正処理対策、ダイオキシン類対策や自然環境の保全など、次々と生じる環境問題の解決に向け取り組んできました。

環境問題の解決のためには、データや科学的根拠に基づいた対応が必要であり、化学職は福岡県の環境部門において大きな役割を果たしています。

最近では、プラスチックごみや食品ロスの削減、地球温暖化対策や生物多様性の保全など新たな問題が生じており、化学職が取り組むべき課題は尽きません。

新たな課題に立ち向かうためには、柔軟な発想と幅広い視点から対応策を検討し、実行することが求められます。また、複雑な環境問題を解決するためには、県民や事業者の皆さんと十分にコミュニケーションを取りながら、粘り強く取り組むことが必要です。

様々なハードルに直面することもあります。困難を乗り越えて問題が解決した時には大きな達成感や自身の成長を感じることができる仕事です。

福岡県の豊かな環境を次世代に引き継ぐため、チャレンジ精神にあふれる皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

福岡県環境保全技術者の会 会長 奥迫 芳美

「福岡県環境保全技術者の会」は、環境保全業務に従事する化学職等の福岡県職員で構成されており、会員の資質向上等のため、研修会や交流会、資格取得に対する助成等の活動を行っています。

設立 昭和55年3月

会員数 97名 (令和7年1月1日現在)

(化学職以外の職員も加入)



1. 化学職の配属先と仕事内容
2. 主な配属先の位置図
3. とある若手職員ビジネスレポートの業務日誌
4. 化学職のキャリアパス
5. 入庁1年目職員あゆみのあれこれ
6. 先輩職員あゆみの軌跡
7. 化学職のバックグラウンド

【試験区分と業務の関係】

このパンフレットで紹介されている化学職は、主に行政業務を担当します。一方で、研究業務を行う職員として勤務するには、化学職の「大学卒業程度（I類）試験」とは異なる試験区分に合格する必要があります。

＼詳しくは試験案内をチェック／

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/saiyo.html>





1. 化学職の配属先と仕事内容

化学職の配属先

化学職は主として本庁の環境部、または、出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門に配属され、福岡県の環境行政を担っています。

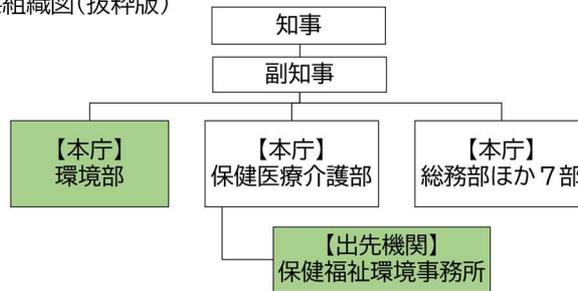
なお、環境部以外の配属先としては、商工部の水素エネルギー関係部署、県土整備部の水道関係部署、また、リサイクル総合研究事業化センターや下水道管理センターへの派遣などがあります。

福岡県では、SDGsの考え方を取り入れた環境行政の基本計画である環境総合ビジョンに基づき、各分野での取り組みを進めており、こちらでは、環境部関係の所属の仕事内容を御紹介します。

※福岡県の環境の取組は、福岡県環境白書や福岡県環境総合ビジョンでも紹介されています。

環境白書はこちら↓

県組織図(抜粋版)



環境部関係の仕事内容

本庁環境部

環境政策課

環境政策課では、環境政策に関する県庁の司令塔として、環境行政の全体的な企画・調整や環境白書の作成、環境部全体の人事、予算編成を行っています。

また、個別の事業として、国際環境協力や県民向けの環境教育・環境イベントなどにも取り組んでいます。国際環境協力の分野では、公害を克服する過程で福岡県が培ってきた環境技術やノウハウを活かし、海外の自治体(ベトナム、中国、タイ、インド等)と協力しながら、越境大気汚染の問題や現地の廃棄物問題の解決に取り組んでいます。

環境保全課

環境保全課では、県民の日常生活を取り巻く大気や水、土壌などの環境を保全し、安全で快適に生活できるようにするための業務に取り組んでいます。

その内容は、県内の大気(PM_{2.5}やオキシダントなど)の常時監視や、河川・海域における水質監視、工場への立入検査・指導、土壌汚染対策、PRTR法に基づく化学物質の管理、環境中の放射線のモニタリングなど多岐にわたっています。また、家庭・事業所の省エネルギー対策や気候変動への適応など、地域における地球温暖化対策の推進にも取り組んでいます。



循環型社会推進課

循環型社会推進課では、廃棄物の発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)の3Rの推進に取り組んでいます。

具体的には、関係リサイクル法に関する事務、リサイクル技術・システムの開発と普及の促進、リサイクル製品認定制度や県産リサイクル製品認定制度の運用を行うほか、食べ残しを減らす取り組みを行っている飲食店等「食べもの余らせん隊」の登録・PR支援、フードバンクの普及を促進する事業など、食品ロス削減に向けた取り組みも行っています。

廃棄物対策課

廃棄物対策課では、廃棄物の適正処理の推進のため、廃棄物行政の総合的な企画・調整等を行っています。

具体的には、県廃棄物処理計画の策定と進行管理、浄化槽の整備促進、PCB廃棄物の適正処理推進、漂着ごみ対策のほか、一般廃棄物の処理施設、産業廃棄物の処理業及び処理施設、使用済自動車等の解体業及び破碎業の許可審査等を行っています。

監視指導課

監視指導課では、事業活動から発生する産業廃棄物の不法投棄や不適正処理を防止・是正することにより、適正処理の推進に取り組んでいます。

具体的には、産業廃棄物の排出業者や処理業者に対する講習会、立入検査・指導、パトロール車や県警ヘリによるパトロール等を行い、不法投棄や不適正処理に対しては、現地調査を行い、改善指導や改善命令等の行政処分等を実施しています。

自然環境課

自然環境課では、福岡県の豊かな自然環境を守り、次世代につないでいくため、希少種保護や外来種対策をはじめとする生物多様性の保全などに取り組んでいます。

具体的には、県内の希少野生生物をまとめたレッドデータブックの発行や外来種リストの作成、鳥獣保護区の指定や傷病鳥獣の保護による鳥獣保護対策、環境アセスメントの審査、自然公園内におけるキャンプ場などの利用施設や自然歩道の整備、温泉の掘削・利用等許可に関する審査などを行っています。



出先機関（県内6か所）

筑紫保健福祉環境事務所
宗像・遠賀保健福祉環境事務所
嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所

北筑後保健福祉環境事務所
南筑後保健福祉環境事務所
京築保健福祉環境事務所

※各事務所の所在地は隣のページをチェック！

地域環境課/環境課地域環境係

地域環境課/環境課地域環境係では、地球温暖化対策、自然環境の保全や浄化槽等に関する業務を行っています。

具体的には、温泉、自然公園、浄化槽に関する申請・届出の審査・指導や傷ついた野生鳥獣の保護等を行っています。

また、地球温暖化、3Rの推進や生物多様性の保全といった、地域や暮らしの中における取り組みが重要となる環境問題の解決に向け、各保健福祉環境事務所を拠点とした、地域環境協議会を設置しており、市町村や事業者、NPOなどの民間団体、地域の皆さんと一緒に、意識作りを行うイベント等を行っています。

環境指導課/環境課環境指導係

環境指導課/環境課環境指導係では、大気・水・土壌環境の保全や廃棄物の適正処理の推進に関する業務を行っています。

大気・水・土壌環境の保全業務では、関係法令に基づく申請・届出の審査・指導や立入検査等を行っています。また、定期的に河川、地下水、海水浴場等の水質検査や土壌環境調査等を行っています。

廃棄物関係の業務では、関係法令に基づく申請・届出の審査・指導や立入検査・パトロール等を行っています。

また、河川の油流出事故や不法投棄の通報に関する現地調査・対応等を行っています。

2. 主な配属先の位置図



○福岡県庁（本庁環境部）○

福岡市博多区東公園 7-7
地下鉄 馬出九大病院前から徒歩5分
J R 吉塚駅から徒歩10分



●宗像・遠賀保健福祉環境事務所●

宗像市東郷1丁目2番1号
J R 東郷駅から徒歩20分



●京築保健福祉環境事務所●

行橋市中央1丁目2番1号
J R 行橋駅から徒歩17分



●筑紫保健福祉環境事務所●

大野城市白木原3丁目5番25号
西鉄白木原駅から徒歩5分



●北筑後保健福祉環境事務所●

久留米分庁舎
久留米市合川町1642-1
西鉄久留米駅から徒歩15分



●南筑後保健福祉環境事務所●

八女分庁舎
八女市本村25
西鉄バス 福島バス停から徒歩7分
堀川バス 福島バス停から徒歩7分
堀川バス 日の出町バス停から徒歩5分



●嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所●

飯塚市新立岩8-1
J R 新飯塚駅から徒歩15分





3. とある若手職員の業務日誌

自己紹介



永田 浩章

入庁5年目

所属 環境部自然環境課
環境影響調査係

生まれも育ちも福岡県です。高校時代の友人が技術系公務員として働いている話を聞き、この仕事に興味を持ちました。

担当業務

主に温泉法に関する業務を行っています。温泉法は、温泉資源の保護や可燃性天然ガスによる災害の防止などを目的としていて、温泉の掘削や公共利用には許可が必要となります。私はその許可申請の審査等を行っています。



8:25 登庁:
地下鉄で通勤しています。

8:30 業務開始:
メールや業務の進捗状況を確認します。今日は、温泉の掘削許可申請の可否等を審議する会議である温泉部会の事前打ち合わせをオンラインで実施するため、その準備を行います。

9:30 打ち合わせ:
温泉部会を取りまとめる部会長とオンラインで事前打ち合わせを行います。打ち合わせでは、会議を円滑に行うために、申請内容の要点を整理します。

11:00 会議資料作成:
打ち合わせの結果をもとに、会議当日に使用する資料を作成します。

12:00 昼休み:
お弁当を持参して執務室内で食事をする人が多いです。庁内でお弁当を販売しているので、そちらを利用することもありますし、庁舎近くの飲食店に行くこともあります。

13:00 会議資料作成:
午前中に引き続き、資料を作成します。

15:00 窓口対応:
温泉の許可申請に関する相談を受けたり、届出を受け付けたりします。相談内容は既存の温泉井戸を掘り替えたいというものや、新規で温浴施設を開設したいなど様々です。基本的には事前に日程調整をして窓口に来ていただきますが、飛び込みのこともあります。

17:30 退庁:
帰宅後は食事や映画にでかけることもあります。また、週に1回、仕事終わりに友人たちとフットサルを楽しんでいます。休日にはサッカーをしたり、ドライブに出かけたりします。



こぼれ話:

化学職として採用された場合、基本的には環境行政に携わることが多く、異動先も限られますが、業務内容は、廃棄物の処理に関することや大気・水質に関することや、私の現在の業務である温泉に関することなど様々ですので、学ぶことの多い毎日です。

「化学」職という職種ですが、化学以外のバックグラウンドを持つ職員もいます。私自身も大学の専攻は化学ではありませんでしたので、化学専攻かどうかは気にせずに、多くの方に興味を持っていただけたらと思います。



自己紹介

生まれも育ちも福岡です。県内の民間企業で働いていましたが、地元のために働きたいと思い入庁しました。

担当業務

産業廃棄物を排出する事業者や、処理する業者の指導及び監督に関する業務を行うため、専用のシステムの整備・運用、ドローンの導入・運営・管理に関することや、職員向け研修の実施などを行っています。

安永 晃崇

入庁8年目

所属 環境部監視指導課
廃棄物指導第一係



8:10 登庁:

電車で通勤しています。乗車駅発の空いている電車に乗るため、少し早めの出勤です。

8:30 業務開始:

1日の業務スケジュールの確認及びメールチェックを行います。当番制で、新聞確認を行っており、監視指導課の業務に関係のある記事が出ていないか確認します。監視指導課の業務に関係がある記事があれば課内で情報の共有を行います。

10:00 事業者との打ち合わせ:

産業廃棄物を処理する事業者などの情報を一元管理している専用システムの整備・運用を委託している事業者と、今後の整備・運用スケジュールや、作業内容などについて打合せを行います。多くの職員がシステムを利用しており、システムトラブルを防ぐために大切な打合せです。

12:00 昼休み:

県庁内の食堂で、同期とおしゃべりをしながら昼食を食べています。

14:00 課内協議:

産業廃棄物を処理する事業者への指導状況、職員向け研修の内容やスケジュールなどについて協議を行い、全体の方針の確認や、進捗状況の確認などを行います。

15:00 資料作成:

課内協議の結果を踏まえ、出先の保健福祉環境事務所や職員向け研修の講師などと打合せを行うための資料を作成します。

18:00 退庁:

帰宅後は、趣味の卓球を行うこともあります。また、飲み会に行くこともあります。



こぼれ話:

福岡県庁には、県庁卓球部をはじめ、様々な部活があるほか、毎年互助会の球技大会が開かれるなど、仕事以外で交流を深める機会がたくさんあり、一緒に仕事をしていない知り合いがたくさんできます。また、勤務は暦どおり土日祝日は休みで、年次休暇以外に夏季休暇などの制度があり、休暇も比較的取りやすいため、ワークライフバランスの取れた働き方ができやすいです。



大塚 世志子

入庁 4年目

所属 リサイクル総合研究
事業化センター
プロジェクト推進班

自己紹介

関西出身で学校卒業後に福岡に来ました。福岡の穏やかな雰囲気惹かれ、県の発展に貢献したいと思いました。

担当業務

社会課題の解決のため、民間事業者と協力してプロジェクト事業を進めています。概ね3年で事業テーマは変わりますが、現在は使用済プラスチックを回収し、再資源化する社会システムの構築に取り組んでいます。



＼リ総研って??／

公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター(略称 リ総研)は、北九州市若松区にある、リサイクルなど3Rに関する新技術・社会システムの構築・事業化を支援するための機関です。

事業としては、産学官民のチームで行われる技術開発や実用化に向けた研究開発への支援事業や、福岡県が重点的に取り組むべきリサイクルに関する社会課題等を県や民間事業者と連携して実施するプロジェクト事業などを行っています。



7:45 登庁:

車通勤をしています。朝の渋滞を回避するため早めに出勤しています。

8:00 業務開始:

今日の業務内容の確認とメールチェックをします。

9:00 朝礼と資料作成:

朝礼では、班内の予定確認と情報共有を行います。朝礼後は、資料作成等の事務処理を行います。

11:00 打合せ:

班で事業の進捗確認や進め方について協議します。プロジェクト事業の遂行は一筋縄ではいかないので、対応方針を話し合い、乗り越えていきます。

12:00 昼休み:

毎週火曜日に来るキッチンカーを楽しみにしています。お気に入り地鶏のおろしポン酢丼です!

14:00 出張:

医薬品が入っていたプラスチックボトルを使用済プラスチックとして回収している薬局へインタビューを行いました。

16:00 出張:

事業の協力事業者と事業の方向性や課題、今後の流れについて協議しました。

17:00 退庁:

この日は出張先から直帰しました。遠方から通勤しているため、出張は直帰できる時間に組むことが多いです。帰宅後は趣味のバイオリンの練習をしています。金曜日は飲みに行くこともあります。

こぼれ話:

化学職の配属先といえば、本庁か保健福祉環境事務所が代表的ですが、外郭団体であるリ総研も配属先の一つです。

プロジェクト事業の目標達成に向けて、自ら方針を決め事業を遂行していくことはとてもやりがいがあります。リ総研の仕事はあまり知られていないため、これを機に知っていただけたら嬉しいです。

県内外の出張が多いですが、定時に帰れることがほとんどなので仕事もプライベートも充実です!



自己紹介

大学卒業後は関西のメーカーで働いていましたが、地元で仕事がしたいという思いで転職しました。

担当業務

産業廃棄物に関する適正処理指導を行っています。
廃棄物の野外焼却・不法投棄・河川への油漏れ等に関する苦情通報の対応も行います。

甲斐原 将

入庁9年目

所属 筑紫保健福祉環境事務所
環境指導課



8:25 登庁:

子どもを保育園へ送った後に自転車で登庁します。

8:30 業務開始:

メールチェックを行い、回覧物の確認、課内ミーティングなどを行います。

10:00 立入検査:

事業者への立入

継続指導中の産業廃棄物の不適正処理現場へ立入し、改善状況の確認と今後の適正処理指導を行います。

立入は2人以上の職員で対応します。

12:00 昼休み:

13:00 書類審査:

水質汚濁防止法に関する届出書の審査を行います。

15:00 苦情対応:

住民から「近所に廃棄物が持ち込まれている」との苦情通報があり、市役所の職員と合同で現地調査を実施します。

行為者を特定し聞き取り調査を行ったところ、違法行為であることが確認されたため、撤去を行うよう指導。

帰所後に対応レポートを作成。

17:30 退庁:

保育園へお迎えに行ったあと、

ご飯→お風呂→寝かしつけ を頑張ります！



こぼれ話:

対応する公害苦情は様々で、苦情の内容によっては市役所環境課や土木事務所・農林事務所等と連携して対応します。案件によっては警察・消防とも連携します。

それぞれの所属担当者と協力して、不適正処理事案や事故に対応し解決していくのは、とてもやりがいを感じます。

共働き家庭なので、家事育児は半分ずつ。日々、子育てに奮闘しています。



4. 化学職のキャリアパス

福岡県職員の新規採用者は本庁(県庁舎)、出先機関(各地域の事務所)のいずれにも配属される可能性があります。

化学職は主として本庁の環境部、または、出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門に配属されますが、採用後5年以内に最初の人事異動があります。

また、採用後10年程度のうちに一度は本庁勤務を経験する人事異動が基本とされています。

県職員としての段階ごとに求められる能力は図のとおりです。



技術主査

求められる能力

・係長の補佐として係の業務のとりまとめ

技師・主任技師

求められる能力

・業務目的と自分の役割の認識
・所属職員との協調、連携
・的確な事務処理と専門的能力の発揮



係長

求められる能力

- ・係の事務の責任者として積極的な取組
- ・係員の育成

課長

求められる能力

- ・所属の責任者としての挑戦的な取組
- ・組織の統一

部長

求められる能力

- ・県政全体の方向性を見通し、部局を横断する課題や目標を設定し、その達成に全力で取り組む



5. 入庁1年目職員のおれこれ



都原 友梨

環境部 廃棄物対策課
令和6年4月入庁

自己紹介をお願いします

令和6年4月に入庁させていただきました都原と申します。私は転職で福岡県に入庁させていただいたので、社会人としては5年目となります。よろしくお願いします。

現在担当している業務は どんな内容ですか？

私は本庁の廃棄物対策課施設第二係に所属し、主に産業廃棄物の処理や使用済み自動車の解体・破碎の事業の許可に関する業務を担当しています。これらの事業は、廃棄物処理法に基づき、事業開始前に県知事の許可が必要となります。私たちは、事業者からの申請に基づき、法令に定められた基準を遵守しているか審査し、許可証を交付する業務を行っています。審査の際には、廃棄物処理法令集をよく参照しています。

化学職として県に就職して驚いたこと、 想像と違っていたことはありますか？

本庁の仕事はデスクでの仕事だけかと思っていましたが、立入検査で現場に行くこともあることに驚きました。県の仕事は法律から県独自に制定している条例までふれる法令が多く、運用に当たっては県民の方々と直接コミュニケーションをとる機会が多いため、求められるスキルは多岐にわたり、想像よりもレベルが高いと感じました。



職場の雰囲気や先輩職員との関係について 教えてください

穏やかな雰囲気です。仕事でわからないことがあった際には優しく丁寧に教えてくれる先輩方がたくさんいます。また、業務に詳しく頼りがいのある先輩方ばかりで自分も先輩方のような素晴らしい職員になれるようがんばろうという気持ちになります！

志望動機や採用試験を受けるまでの 経緯を教えてください

出身は他県なのですが、大学・大学院時代の6年間を福岡県で過ごしたことで福岡県に魅了されたのがきっかけです。前職は東京での勤務でしたが、安くておいしい食べ物がたくさんあり、自然豊かな一方で都会な雰囲気もある福岡はとても住みやすいと感じます。

担当業務において、役に立った経験や 技能はありますか？

役立った経験・技術は、電話やメールの基本的な対応マナーやパソコンの基本的な使い方だと思います。化学の専門的な知識は使う場面は少ないかもしれませんが、物質の化学的・物理的な性質を理解していることが、法律の趣旨を理解することやどのような原理で廃棄物が処理されるのか理解することを助けてくれることもあるように思います。

仕事の中でやりがいを感じる点や 就職して良かったと感じる点はどんなところですか？

自分が担当した事業者の許可の審査が終了し無事に許可証が発行されたときにはやりがいを感じます！担当した事業者に適切に廃棄物を処理していただくことで、大好きな福岡県の環境がきれいになることに貢献できているのだと感じることができます！

最後に、受験生へのメッセージをお願いします！

福岡県の環境をよくしていく仕事はとても使命感のある仕事だと思います！採用試験は大変だと思いますが是非熱い気持ちをぶつけてがんばってください。一緒にお仕事できることを楽しみにしています！



田中 健祥
南筑後保健福祉環境事務所
令和6年4月入庁

自己紹介をお願いします

田中健祥と申します。熊本県出身で、大学院進学を機に福岡に来ました。昨年度は高校教師として勤務しており、社会人経験、公務員経験ともに2年目となります。

現在担当している業務は どんな内容ですか？

産業廃棄物の排出者と処理業者に対する監視指導、及び不法投棄の防止業務に従事しています。廃棄物は、適切に処理しなければ、悪臭、景観の悪化、環境汚染といった形で周辺に悪影響を及ぼす可能性があります。そのため、関係法令に基づき廃棄物の保管量や保管状況等について監視し、必要な指導を行うことで、地域の皆さんが安心して暮らせるよう、地域環境の保全に努めています。現場では、ドローンを使って監視を行うこともあります。

化学職として県に就職して驚いたこと、 想像と違っていたことはありますか？

入庁前は、化学職といえば大気や水質に含まれる化学物質の研究を行う仕事だと考えていました。しかし、実際は産業廃棄物処理業者への立入検査や不法投棄現場の確認など、屋外での業務が予想よりも多く驚きました。座学に加え、現場での経験を通して学ぶ機会も豊富にあり、着実に自身の知見が広がっていることを実感しています。

また、ワークライフバランスの取りやすさにも良い意味で驚いています。勤務時間の調整や年次休暇の取得がしやすいなど、職員にとって働きやすい環境が整備されているため、趣味の時間も十分に確保できており、大変満足しています！



職場の雰囲気や先輩職員との関係について 教えてください

職場の雰囲気はメリハリがあり、黙々と仕事に集中することもあれば、雑談で和やかな雰囲気になることも多いです。業務に関する相談や質問もしやすく、上司や先輩は経験に基づいた丁寧な指導をしてくださるため、理解が深まります。また、事務所近くの美味しい食事処など、私生活に関するアドバイスもいただけるので、大変助かっています。

志望動機や採用試験を受けるまでの 経緯を教えてください

地域に根差した仕事に従事したいと思い、福岡県庁を志望しました。県をまたぐ移動がないという点も大きな魅力でした。

採用試験の準備は試験日の3カ月程前から始めました。専門科目は、学生時代に使っていた有機化学・無機化学・物理化学・生化学の基礎部分を復習し、一般科目は、問題数が多い数理処理と全く触れたことのない社会科学を重点的に勉強しました。

担当業務において、役に立った経験や 技能はありますか？

コミュニケーション能力が役に立ちました。私たちの仕事は自分一人だけで解決できるものはほとんどありません。地域の方から悩みを聞く際や市役所及び警察と協力して案件に取り組む際は密に情報共有をする必要があります。相手から見ると私は県職員の代表となるため、責任感を持ちつつ、円滑なコミュニケーションを常に心がけています。

仕事の中でやりがいを感じる点や 就職して良かったと感じる点はどんなところですか？

地域の方から感謝の言葉をいただいた際に、大きな達成感を感じます。私たちの仕事は、企業の利益のためではなく、公共のため、地域の皆さんのために行うものです。公務員は、まさに「人の役に立ちたい」という思いを実現できる仕事です。目の前の人を助け、地域社会に貢献できるという実感こそが、この仕事の最大の魅力です。もちろん大変なこともあります。業務が直接的に地域の皆さんに役立つことが私のモチベーションになっています。

最後に、受験生へのメッセージをお願いします！

化学職は、「環境問題の解決」に向けて多角的に取り組む仕事です。環境関連の知識を持ち合わせていない方も多いと思いますが、それに関しては全く問題ありません。私も入庁前は不安に感じることもありましたが、今は胸を張って「入庁して良かった」と言えます。

これを読んでいるあなたと一緒に働ける日を心待ちにしています！



あゆみ 6. 先輩職員の軌跡

環境部長

鐘ヶ江 弥生



昭和63年 入庁
平成30年 環境部環境政策課企画広報監
令和元年 環境部循環型社会推進課長
令和4年 環境部次長
令和5年 環境部長

日々悩みながら現場を駆け回っていた採用当初

最初の配属先は保健所（保健福祉環境事務所）で、主に水質、大気等公害関係の業務を担当していました。論理的でかつわかりやすく話すというのは、非常に難しいと日々悩みながら現場を駆け回っていました。手本を示しながら丁寧に指導して下さった諸先輩方に今でも感謝しています。

ちなみに、今では多くの女性が公害業務を担当していますが、当時は女性が公害担当をするのは初めてで、管内の市町村の方々から、「今度の担当は新規採用の女性らしいけど大丈夫か。」と心配されていたそうです。

レアメタルリサイクルの新たなスキーム

循環型社会推進課では、班長として、携帯電話やパソコンなどの小型家電に含まれるレアメタルをリサイクルする仕組みづくりに取り組みました。

小型家電1台当たりのレアメタル含有量は少なく、事業採算性を確保するためには、いかに広範囲から効率的に集めるかがカギとなります。このため、環境省事業を活用して、九州各県からの広域回収実証事業を実施し、回収やリサイクルに係るコスト等の検証を行いました。この事業における一連のスキームが、小型家電リサイクル法制定の際のモデルとなりました。現行の法律では実現が難しい案件でも、あきらめずに取り組み解決策を提示することで、新たな仕組みを構築できたことは、その後の仕事に対する向き合い方に影響を与えた案件です。



福岡県環境部の果たす役割を特に意識するようになった

環境部長になって、様々な会議、行事などを通じて、国、市町村、関係団体の方々とお会いする機会が格段に増えました。名刺があつという間になくなってしまいます。知事・副知事、他の部長や県議会議員の方々と話をすることも増え、県全体、また日本、そして国際社会の大きな変化の中で、本県環境部の果たす役割を特に意識するようになりました。

福岡県環境総合ビジョンでは、「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ」を本県の将来像に掲げ、グリーン社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。

令和6年7月には、全国に先駆けて、「グリーンEVバッテリーネットワーク福岡（愛称：GBNet福岡）」を設立しました。このGBNet福岡では、気候変動対応の観点から普及が進んでいるEVについて、使用済みバッテリーの回収・リユース・リサイクル・再製造の一連の工程に対応する、資源循環の「福岡モデル」の構築を目指しています。また、県内3つの海岸で開催したビーチクリーニング大会で回収された漂着ごみを使ったアート作品を制作し、クリスマスイベントの開催期間中、天神中央公園にて展示する取り組みも行いました。



職員がやりがいを実感できる職場づくりを目指す



部長として、県民の安全・安心を確保するため、公害対策、廃棄物対策について、引き続きしっかり取り組むとともに、様々なステークホルダーの理解・協力を得ながら、地球温暖化対策、資源循環、生物多様性の保全など、将来に向けた新たな施策に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

また、職員の皆さん一人ひとりが、やりがいを実感できる職場づくりをしていきたいと思っています。

今起こっていること、この先起こりそうなことにアンテナを高く張り、あきらめずに挑戦すること

環境行政も、いわゆる公害問題から廃棄物の不適正処理、そして地球温暖化、海洋プラスチックごみ問題など多岐にわたっています。課題はグローバルでも実際に起こっている事象は日常生活に密着したもので、地方公務員が果たす役割は益々重要になっています。

法律や科学的根拠をもとにじっくり考えることも大事ですが、現場に行って確かめる、関係者の話を聞くということも重要です。今起こっていること、そしてこの先起こりそうなことにアンテナを高く張って、あきらめずに挑戦することが求められています。

福岡県、そして日本、地球の環境保全のためにがんばってみたいと思う方、是非福岡県の化学職として一緒に仕事をしましょう。



環境長

奥迫 芳美



平成9年 入庁
令和3年 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 環境長
令和5年 南筑後保健福祉環境事務所 環境長
(現 環境部自然環境課 企画監)

本庁と出先の双方で経験を積む

私は化学素材メーカーで4年間勤務した後、福岡県に化学職として採用され、当時直方市にあった鞍手保健所で環境保全業務に携わりました。環境保全業務というのは、工場に立入して排水や排ガスを検査したり、河川や湖の水質調査を行ったりといった、地域の生活環境を保全する大事な仕事です。

当初は民間企業との立場の違いに戸惑いましたが、化学職の先輩に環境保全業務の基本を色々教えてもらい、何とか業務を進めることができました。

その後、2～5年間隔で本庁環境部と出先を行き来しながら、現在に至っています。

東日本大震災発生後の情報提供の仕組みづくりを行った

初めて係長になった本庁環境保全課勤務の時、県内の放射線量と大気中PM_{2.5}（微小粒子状物質）の監視体制構築に取り組みました。

当時は東日本大震災発生直後であり、福岡県でも放射線量の監視を強化する必要がありました。また、PM_{2.5}についてはマスコミで大きく取り上げられたことから県民の方々の関心が非常に高くなり、問合せも非常に多かったことを覚えています。

専門家などの様々な関係者と協議を重ねた上で、放射線量及びPM_{2.5}の測定施設を設置するとともに、様々な媒体（ホームページ、メール、テレビデータ放送など）を用いて、広く県民の方々に測定結果や注意情報をお知らせする仕組みづくりを行いました。

当時の経験から、好ましくない情報やデータであっても隠さず公表・説明しなければ、県民の方々の理解を得ることはできないと実感しました。

仕事は忙しかったのですが、職員一丸となってミッションに取り組み、国・県庁関係機関・市町村等の協力を得ながら楽しく仕事を進めることができました。





環境長は出先機関の責任者

環境長とは出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門の責任者であり、管轄する地域の生活環境を保全するため様々な取組みに挑戦するポジションです。地域の生活環境を保全するため、事業目標の設定、事業の基本方針の決定、外部機関との折衝などを行います。また、南筑後保健福祉環境事務所の環境部門には地域環境課及び環境指導課があり、これらの組織に所属する職員を統率する立場にあります。

持続可能な社会を実現するためには、事業者だけでなく県民誰もが環境負荷の少ない行動を実践することが重要です。そのため、南筑後保健福祉環境事務所の環境部門では県民の方、特に将来の福岡県を築いていく子供達への環境啓発活動に力を入れています。

筑後地域には有明海という特徴ある海域があります。令和5年度から、里山や河川に加え、有明海をフィールドとした啓発イベント（干潟観察会など）を始めました。

また、県民の方々から相談が多いのは、廃棄物の不適正処理や工場などからの排水・排ガスに関するものです。南筑後保健福祉環境事務所では廃棄物処理業者や工場の監視を強化し、市町村などの関係機関と連携しながら、課題解決に取り組んでいます。

近年、環境問題は複雑化しており、保健福祉環境事務所の環境部門だけでは解決できない問題が増えています。環境問題を解決するためには、国・市町村・NPO・企業など県以外の関係者との連携を強化することが重要です。

環境長として、日頃から関係機関との対話を重ね、連携を深めるよう努めています。

また、部下職員が働きやすく、やりがいを持って仕事に取り組めるよう、職場環境、人員、組織体制などを整備することにも力を入れています。



現場対応から政策まで、幅広い経験を得るチャンスがある職種

福岡県では「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会の構築」を目指し、様々な課題に取り組んでいます。そのためには、環境配慮型のビジネススタイルやライフスタイルへの転換など、社会活動の転換が必要になります。

一方、実際の環境問題が顕著化するのは住民生活の場であるため、地域の声をよく聞き、現場を念入りに調査し、工場・業者などへ指導することも引き続き重要です。

化学職の職員は試験研究をすることはありませんが、問題現場での対応だけでなく、県計画の策定、民間団体や企業との協働など幅広い経験を得るチャンスがあります。

福岡県の環境をより良くするためには、皆さんの柔軟な発想と行動力が必要です。

ぜひ、私たちと一緒に福岡県の未来をつくっていきましょう。



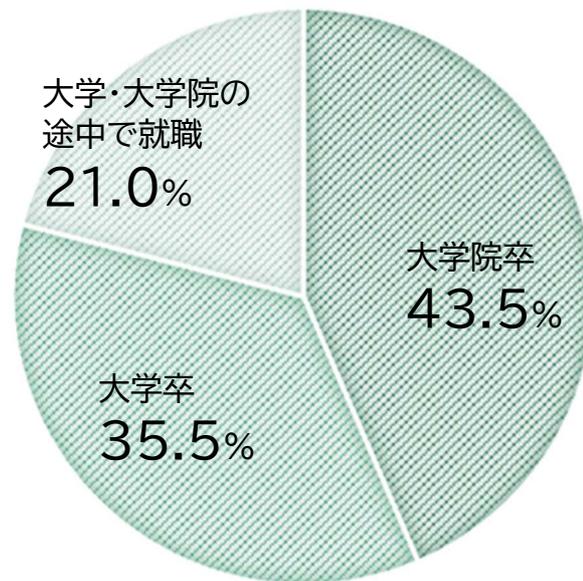
7. 化学職のバックグラウンド

化学職の新規採用者は、新卒から転職者まで様々なバックグラウンドを持っています。
ここでは、参考情報として、大学の所属学部や前職経験に関するアンケート調査結果を御紹介します。

(回答者数 62名)

1. 学歴

大学院卒が一番多いですが、途中就職組も結構います。

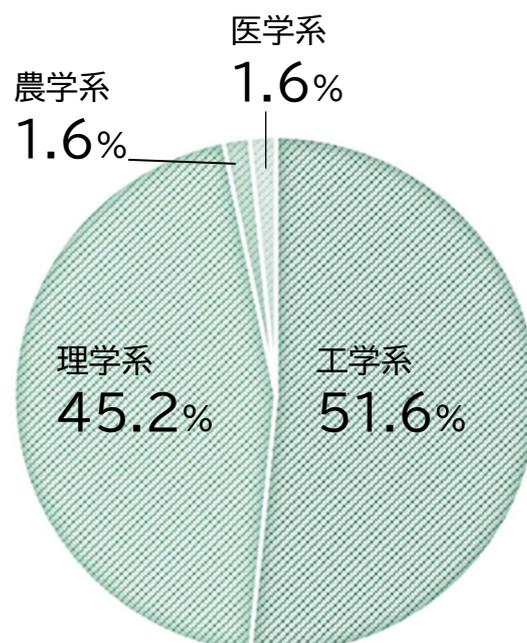


2. 学部系統

工学系・理学系出身者が大半です。
全体の学科・専攻の内訳をみると・・・

化学系
生物系
物質・材料系 など

化学専攻者ばかりではありません。

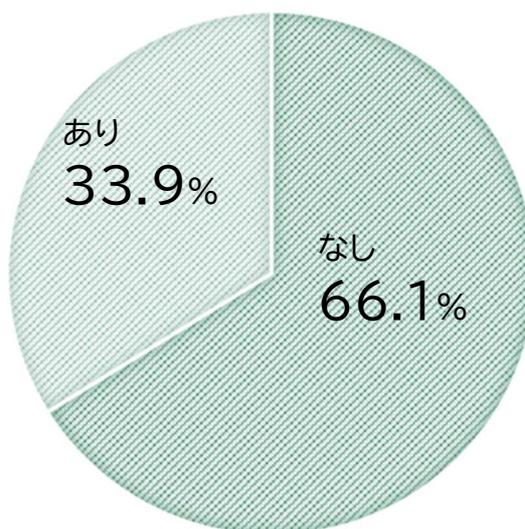




3. 前職経験

前職分野の内訳は・・・
メーカーの技術職・研究職
公務員
教育関係 など

前職経験者が結構います。



【参考】最近の試験実施状況

年度	採用予定数	受験者数	最終合格者数	倍率
令和 6年度	7	12	7	1.7
令和 5年度	5	17	7	2.4
令和 4年度	5	20	6	3.3
令和 3年度	3	14	4	3.5
令和 2年度	2	24	2	12.0



【福岡県職員 化学職志望者向けパンフレット】
—令和7年版— 福岡県職員化学職って？

編集・発行 福岡県環境保全技術者の会
福岡市博多区東公園7-7(福岡県庁)
<http://KangiKai.sunnyday.jp/>

電子版パンフレットは
こちら！！↓

